

平成 29 年度事業報告
(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 映像産業振興機構

1. 事業の経過

平成 29 年度の通常総会（6 月 21 日開催）でご承認いただきました、本年度の事業計画書、会計収支予算書に基づき、人材育成事業、内外の市場開拓等に関する事業を実施致しました。各事業の実施状況につきましては、次の通りであります。

2. 主な事業の実施状況

(1) 人材育成事業

① 短編映画作品製作による若手映画作家の育成 (ndjc2017)

文化庁

12 年目を迎えた本年度は、35 の映像関連団体等より有望な若手作家の推薦をいただき、応募 62 名（前年 75 名）の中から 15 名がワークショップ（8 月 10 日～8 月 20 日）に参加しました。

さらにその中から 5 名の作家が、制作プロダクションのご協力のもと、35 ミリフィルムでの撮影を必須とし 25 分以上 30 分以内の短編映画作品を完成させる製作実地研修を行い、無事作品を完成させました。平成 30 年 2 月 9 日の丸の内 TOEI における東京の合評上映会を皮切りとして京都、大阪、名古屋にて完成作品の合評上映会を行いました。東京の参加者は 322 名であり、昨年比+16%と順調に業界における注目度を増しております。

この 11 年間に完成した 57 作品についても、引き続き発表機会の提供活動を行っております。

主な ndjc 作品の発表機会 (ndjc 自主事業の一環として)

- I. 国内外映画祭における主な招待上映（海外 5、国内 10 映画祭）
- II. 配信（青山シアター、ひかり TV 等）

昨年度に引き続き今年度も参加作家の中から商業用長編映画デビューを果たした監督が出てきています。平成 29 年 5 月に飯塚俊光監督（2014 期）が『ポエトリーエンジェル』（アークエンタテインメント配給）でデビューし、平成 30 年 1 月には中江和仁監督（2011 期）『嘘を愛する女』（長澤まさみ主演）が東宝配給で公開されヒットを飛ばし、2 月には谷本佳織監督（2011 期）『花は咲くか』（東映ビデオ配給）がデビューを飾りました。

また、中野量太監督の『湯を沸かすほどの熱い愛』が正式ノミネーションは逃しましたが米国アカデミー賞外国映画賞の日本代表に選ばれました。2015年に『トイレのピエタ』でデビューした松永大司監督の新作『オトトキ』も平成29年10月に公開され、参加監督たちの今後の活躍が益々期待されます。

- ② 映画・映像人材育成事業 京都府
京都府との事業は、昨年引き続き『京都映画企画市』（450万円）『京都クロスメディア推進戦略拠点事業』よりの再委託事業（250万円）を実施しました。『京都映画企画市』は、従来通り時代劇映画の企画募集ですが、今年度は22企画（昨年15企画）の応募が有りました。いずれも意欲的なものであり質的レベルも上がっております。選ばれた企画のパイロット版は平成30年3月に無事完成し納品されております。また昨年度、選ばれた企画『黒の牛』は現在、映画化に向かってデベロップメント中です。その他の再委託事業のコンテンツを軸としたセミナーの開催（「VRコンテンツ制作セミナー」「クリエイターのためのクラウドファンディング活用セミナー」等）は、無事実行されました。

（2）内外の市場整備事業

- ① コンテンツ産業強化対策支援事業 経済産業省
「コ・フェスタ（JAPAN国際コンテンツフェスティバル）2017」
11年目となったコ・フェスタは、これまでコンテンツ産業および関連各種イベントを連携させた統合的コンテンツフェスティバルとして効果を上げてまいりました。
今年度は更なるイベント間の連携、コンテンツと異業種の連携を目指し、日本コンテンツに係るイベントのネットワーク構築を行い、コンテンツを主軸としたオープン・イノベーションの在り方等を検討し、国内外に向けて発信することで、延いては日本コンテンツの市場拡大につなげるべく活動しました。

I. イベント連携事業

i. ビジネスマッチング連携会議の実施

イベント間の連携、コンテンツと異業種との連携を目指し、コ・フェスタに参加している主に BtoB イベント間での連携会議を実施。イベント連携企画の実現や今後の可能性を探りました。

・参加イベント：JCS (TIFFCOM, TIAF, TIMM)、デジタルコンテンツ EXPO、

マンガフェスティバル in ベトナム

第1回 7月27日実施

- ・課題の共有
- ・各イベントの2016年度のビジネスマッチング施策の紹介

第2回 9月11日実施

- ・海外バイヤー、プレス招待方針等の共有
- ・各イベント連携企画の進捗状況報告
- ・オープンイノベーション事例紹介（松竹、CiP協議会、デジタルコンテンツ協会）

第3回 2018年2月26日実施

- ・各イベントのビジネスマッチングと連携セミナーの実施報告

ii. イベント連携企画の実施

上記会議に参加しているイベント間での連携企画の実施。今年度は下記5企画を実施しました。

- A) TIFFCOM×デジタルコンテンツ EXPO : TIFFCOM 内でのセミナー実施、ブース出展
- B) TIAF×デジタルコンテンツ EXPO : TIAF 主催セミナーへの協力
- C) TIMM×デジタルコンテンツ EXPO : TIMM 主催セミナーへの協力
- D) マンガフェスティバル×他4イベント : 過去に参加した海外企業の紹介
- E) マンガフェスティバル×他4イベント : 会場内でのイベント紹介

iii. コンテンツ×スポーツに関する方策の検討

コ・フェスタ主催「スポーツ×コンテンツ 海外展開成功事例セミナー」の実施。

10月25日 JCS 会場内セミナールームにて

登壇者：エイベックス・アジア、VIPO

iv. コンテンツを主軸としたオープンイノベーションの検討

コ・フェスタ主催「海外文化発信イベントを活用した DMO、地方自治体の海外PRの秘策とは？」

9月22日 ツーリズム EXPO 会場内セミナールームにて

登壇者：IOEA、VIPO

v. 百人委員会の継続

今年度は計 103 社が登録。主にコ・フェスタイベントへの招待を実施。

vi. コア・オフィシャル・パートナーイベントの選定

今年度は、東京ゲームショウ 2017、Japan Content Showcase、第 30 回東京国際映画祭、及び、Anime Japan の 4 つのコアイベント、11 のオフィシャルイベント、27 のパートナーイベント（海外 10 イベント含む）を選定。

II. 総合的な海外情報発信事業

i. 海外パートナーイベントとの連携

新規に 7 つのイベントを追加し、合計 10 イベントと連携。参加者に対して日本コンテンツに対するニーズ調査を行いました。

ii. インフルエンサー招聘

中国、メキシコ、インドネシアのインフルエンサーを招聘。東京ゲームショウ、JCS、国際ドラマアワード、デジタルコンテンツ EXPO 等に参加し、SNS による発信を実施。通常、リーチしづらい中国やメキシコを入口とするラテンアメリカ諸国に発信・拡散することができました。アクセス数合計が 243 万以上で、特に、エンゲージメント（いいね等のポジティブなアクション）数が 8 万以上と高い結果となりました。

iii. コ・フェスタアンバサダーによる発信

12 イベントに参加し、SNS や JAPACON facebook 等にて動画や記事を発信。さらに、日本コンテンツに関する動画番組を制作し、YouTube やいくつかの日本情報サイトで配信しました。また、参加イベントへの外国人ユーザーとしてのフィードバックを行いました。動画再生数の合計は 100 万を超えました。

III. その他の活動

i. 8月1日 コ・フェスタ 2017 実行委員会総会（野村コンファレンスプラザ） 合計 64 名参加

- ② 京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ 2017） 京都市
コ・フェスタ 2017 のオフィシャル・イベントである KYOTO CMEX 2017 のアニメ・マンガ部門の統合イベントとして第 6 回京都国際マンガ・ア

ニメフェア（京まふ）が9月16日、17日の両日開催され、34,058名（昨年43,936名）が来場しました（入場人員減は台風の影響によるものです）。当機構では、3回目を迎える京都国際漫画賞（旧称 京まふ漫画賞）を実施しました。今年は、対象国・地域を台湾、中国の2つから韓国、日本を新たに加えた4つに拡大し実行されました。応募総数も370作品（前年142作品）でした。各地域の優勝者が京まふへ招待され雑誌編集者による面談を受けております。昨年の台湾の優勝者は、9月に雑誌『Gファンタジー』（スクエアエニックス）でデビューを飾りました。一昨年の優勝者に続く2年連続のデビューとなります。今年の優勝者も才能豊かであり3年連続のデビューの期待が高まります。

- ③ コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業 経済産業省
平成28年度補助金による「コンテンツグローバル需要創出基盤整備事業費補助金」（J-LOP4）の募集を平成28年12月19日より開始し、平成29年10月27日までに応募を受け、11月10日までに採択を行い、採択件数は971件（交付決定件数は968件）、採択金額進捗率（補助金の予算に対し、採択された金額の割合）は100%に達し、これをもって応募受付を終了。その後、確定検査も全件終了しました。本事業には、ビジネスマッチング事業が含まれておりますが、各種セミナーやビジネスマッチングを15件以上実施しました。併せて、海外進出支援情報整備として各種リストの整備も行い、バイヤーズリストや海外イベントリスト等7種類のリストを制作しました。
- ④ クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業 経済産業省
平成29年度補助金による「クリエイターを中心としたグローバルコンテンツエコシステム創出事業補助金」の事務局に決定致しました。本事業は、以下の3つの事業について、事業を主体となって実施する企業・団体に必要経費の一部を助成するものです。
- I. クリエイター等の海外挑戦支援事業
 - II. 多様な資金調達を目指した試作コンテンツ等開発支援事業
 - III. 正規版コンテンツ等の海外同時展開支援事業
- ⑤ 先進コンテンツ技術による地域活性化促進事業 経済産業省
平成29年度予算における当該補助金事業の事務局を受託しました。この

補助金は、(1) VR (仮想現実) /AR (拡張現実) やドローン、AI 等の先進的なコンテンツ制作技術や表現技術を用いて、地域に関する製品・サービス、観光、スポーツ等の魅力をプロモーションし、地域活性化に資するコンテンツ制作等を促進すること、(2) 先進コンテンツ技術に係る最適な活用手法を取りまとめ、普及を行い、コンテンツ産業の振興と地域活性化を図ることを目的とする事業です。応募が計 77 社、82 件あり、外部有識者による審査の結果、計 14 件の事業を採択しました。全ての採択案件が無事コンテンツの制作と確定検査を完了し、補助金の支払いまで終了しました。

- ⑥ コンテンツ活用促進事業 東京都
平成 29 年度予算における当該事業の事務局を受託しました。この事業は、コンテンツ企業・異業種企業（「製造」・「医療」・「教育」分野）のニーズを踏まえたセミナーを開催すると共に、相互の連携を促進するためのマッチング交流会を実施するものです。12 月 6 日に行われたセミナーとマッチング交流会には、コンテンツ企業 42 社と異業種企業 29 社（「製造」20 社・「医療」3 社・「教育」6 社）が参加し、381 件のマッチングを行いました。その結果既に 2 件の契約が成立し、二桁の案件が進行中です。東京都からも高評価を頂いております。

(3) 自主事業

① VIPO アカデミー

2015 年 5 月に 1 コースを開設して以来、今年度は 3 年目を迎えました。コンテンツ業界各社に確実に浸透して来ており、アカデミーに参加することを目的に入会する企業も数社現れて来ています。様々な企業との直接的なコンタクトにより、各社のニーズを把握する機会が生まれ、VIPO の活動拡大の可能性に繋がって来ております。又、各コースに VIPO スタッフ（出向者含め）が参加することにより、スタッフのスキル、知識及びモチベーションの向上にも繋がって来ております。

今年度は春期・秋期に加え、夏にワンデーセミナー、冬に 1 コースを開講しました。

I. 春期（4 月～8 月）の実績（以下、参加者人数は、VIPO スタッフ除く）

「コーポレートリーダーコース」参加者 7 名

「プロジェクトリーダーコース」参加者 12 名

「業界研究ベーシックコース」参加者 329 名（延べ）
「グローバルビジネスコース」参加者 7 名
「リーガル・エッセンシャルコース」参加者 6 名
「ファイナンス・エッセンシャルコース」参加者 7 名

II. 夏期

今年度は8月21日に「リーガル・ワンデーセミナー」を実施。リーガルエッセンシャルコース修了者を中心に28名の参加がありました。

III. 秋期（9月～12月）の実績

「コーポレートリーダーコース」参加者 16 名
「プロジェクトリーダーコース」参加者 9 名
「業界研究ベーシックコース」参加者 195 名（延べ）
「グローバルビジネスコース」参加者 6 名
「リーガル・エッセンシャルコース」参加者 11 名
「ファイナンス・エッセンシャルコース」参加者 10 名

IV. 冬期（1月～3月）の実績

昨年の冬に希望者の多かった「リーガル・エッセンシャルコース」を2月に開講 参加者 11 名

※3年間の総受講企業数 89 社
3年間の総受講者数 360 名（ベーシックコース単発受講除く）

V. 来年度への展望

更なるコース内容の充実と受講者のニーズに対応するために、各コースの講義内容や講師の精査、企業へのヒアリングを実施しており、それを元に必要な変更を実施します。また、いくつかの企業より要望のある派遣型の講座を実施することにより、参加企業、参加者の増加及び事業採算の向上を目指します。

さらに、VIPO アカデミーの認知拡大のための施策も実施予定です。

② セミナー・ワークショップ事業

4月 ● アクターズワークショップ&篠原監督作品オーディション
/ 2日間（参加者 20 名）

- SXSW -サウスバイサウスウエスト- 2017 レポートセミナー
(参加者 50 名)
- 5 月 ● 3 時間でいっきにわかる！映像基礎知識セミナー / 協力:MPTE
(参加者 54 名)
- エンタメマーケター養成講座 全 4 回 (参加者 18 名)
- 2017 K-Story in Japan (KOCCA より委託) 2 日間
(参加者ピッチング 95 名、ビジネスミーティング 23 社)
- 6 月 ● MPTE 第 31 回勉強会 ベースバンドから IP 放送～そしてご家庭
まで 主催：一般社団法人日本映画テレビ技術協会 (MPTE)
/VIPO 協力 (参加者 60 名)
- プロデューサーズ・カフェ 主催：日本映画テレビプロデュー
サー協会/VIPO 協力 (参加者 36 名)
- コンテンツ東京 2017 特別講演枠 音楽、舞台、映像などジャ
ンルを超えたコンテンツの海外展開、成功の秘訣～アミュー
ズ・松竹に学ぶ、グローバル戦略～ (参加者 663 名)
- 海外エージェントローカライズ事業者ビジネスマッチングセミ
ナーin コンテンツ東京 3 日間
- 7 月 ● 福井弁護士法律セミナー第 3 弾 コンテンツ業界が知っておき
たい動画制作・公開の著作権と肖像権 (参加者 68 名)
- 8 月 ● 日本人がアメリカ映画界で成功する方法 ～NY で監督になる
方法 / ハリウッドでプロデューサーになる方法～ (参加者 36
名)
- 9 月 ● 海外イベント合同説明会 9 イベント 9 社
(実来場者 69 名、相談件数 90 件)
- コンテンツ業界が知っておきたい海外映像セールスの基礎知識
セミナー (参加者 64 名)
- 映画俳優・スタッフ養成セミナー 脚本読み込み講座 2 日間
(参加者 26 名)
- 日韓ゲーム産業セミナー 主催 KOCCA/VIPO 協力
(日本企業 17 名・韓国人 50 名)
- ツーリズム EXPO ジャパン ツーリズム・プロフェッショナ
ル・セミナー インバウンドに向けたデジタルマーケティング
3.1 (参加者 120 名程度)
- ツーリズム EXPO ジャパン ツーリズム・プロフェッショナ
ル・セミナー 【コ・フェスタ 2017 オープンイノベーション
セミナー】海外文化発信イベントを活用した DMO、地方自治体

- の海外 PR の秘策とは？（参加者 31 名）
- 10 月 ● アクターズセミナー賞選定オーディション 2017 主催：日本映画テレビプロデューサー協会/VIPO 協力（参加者 43 名）
- JCS コ・フェスタ 2017 主催 オープンイノベーションセミナー「エンタテインメント×最新テクノロジー」
VIPO×JCS×DCEXPO 連携（参加者 29 名）
- JCS コ・フェスタ 2017 主催「スポーツ×コンテンツ」海外展開成功事例セミナー（参加者 33 名）
- 11 月 ● VIPO/ジャパン・フィルムコミッション共催
『この世界の片隅に』監督・FC 支援報告セミナー（参加者 17 名）
- 映画プロデューサー養成セミナー第 2 弾 全 4 回
（参加者 27 名）
- 福井健策弁護士コンテンツ法律セミナー第 4 弾
「コンテンツ業界が知っておきたい『動画制作・ライブイベントに必須の音楽著作権の基礎知識』」（参加者 64 名）
- 12 月 ● コンテンツ業界が知っておきたい海外見本市・イベント攻略セミナー（実践編）ビジネスにつながるネットワークの作り方教えます 協力：日本映像翻訳アカデミー株式会社
（参加者 33 名）
- 1 月 ● JFC 全国ロケ地フェア 2018 主催ジャパン・フィルムコミッション/VIPO 協力（参加者 100 名）
- 2 月 ● 映画『永遠の 0』編集者宮島竜治氏による 映画編集基礎講座～プロの映像編集を目指す方へ～（参加者 21 名）
- コンテンツ業界が知っておきたい中国ビジネス攻略セミナー
ビジネス編・法律編・ローカライズ編（3 日間）
（のべ参加者 160 名 実参加者 97 名）
- アクターズワークショップ第 4 弾 星護監督（2 日間）
（参加者 17 名）
- 3 月 ● MPTE 第 38 回勉強会「Netflix における品質基準」
主催：一般社団法人日本映画テレビ技術協会（MPTE）/VIPO 協力（参加者 57 名）

以上 29 件を実施しました。昨年度の 9 件から 3 倍以上の開催となっており、活発な活動を行いました。

参加合計 2,015 名

③ ジャパンアンバサダー事業

7月1日より日本文化の海外展開およびインバウンドにおける様々な課題を、親日の外国人のサポートによって、発信、体験、調査、言語の4つの視点から解決するマーケティングサービスの提供を開始しました。

I. 事務局としての主な活動

- i. オフィシャルサイトを開設
- ii. 登録外国人促進のためのイベントを開催
- iii. ツーリズム EXPO ジャパン、クールジャパン・マッチングフォーラム等に出展
- iv. 日本文化とインターネット利用に関する自社調査を実施

II. 受注概要

2017年7月～2018年3月までで計16件受注。

内容としては、体験+発信、発信、調査、イベントでの多言語対応支援など。

III. 受注元・内容

- i. 観光関係
泉州マラソン（参加&発信）、JTB（神戸・愛知・岡山・滋賀）（体験&発信）、近ツリ（ベトナムでのイベントのプロモーション）、ソリッドインテリジェンス（JNTO 調査）
- ii. 観光 x コンテンツ（体験&発信）
JTB グローバルマーケティング、東京アニメツーリズム協会、鳥取マンガコンテスト
- iii. コンテンツ
PROMIC（TIMM, Anime Japan 多言語対応スタッフ）、工画堂スタジオ（ゲーム系調査）、
- iv. 食べ物関係
おいしい JAPAN（シンガポールでのイベントのプロモーション）
- v. その他
内閣府（クールジャパン関連調査）

来期の案件も既に進んでおり、問い合わせを受けているものもいくつかあります。2年目になる来期は本格的に営業活動に取り組み、売上げを伸ばしていきたいと思っています。

※アンバサダー登録：9,887名（108の国・地域）【2017年3月現在】

④ AFI Conservatory 日本人留学生推薦事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すと共に、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築する事を目的とし、AFI (American Film Institute) Conservatory へ留学を希望する日本人の推薦活動を運営しております。AFI Conservatory への入学が正式に決定した場合、“T.Y. 奨学金制度” が AFI Conservatory の判断により給付される可能性があります。

また、将来的には留学生、卒業生等の講演やワークショップを日本で実施するなど、AFI へ留学を希望する日本人の数および質の向上を目指しております。

- ・VIPO 内サイトにおいて募集告知及びメーリングリスト約 9,000 名に告知メール配信（8月）。
- ・映像・演劇関連 2 サイトに告知投稿（9月）。
- ・募集前後に本年度問い合わせ 3 件あり（3月、5月、10月）。
- ・締め切りは 10/16、本年度は応募 1 件があり、面談の上推薦状発行し、送付、結果待ち。

⑤ シネマート・ロッテルダムラボへの若手プロデューサー派遣

- ・ロッテルダム映画祭に併設されているシネマートと VIPO はパートナーシップを結び、若手プロデューサー育成ワークショップであるロッテルダムラボに日本よりプロデューサーを派遣する事業を開始しました。平成 30 年 1 月に山戸結希監督を派遣しました。今後、時間を掛けてプロデューサーに成長の機会を提供していきたいと考えております。

⑥ 交流促進事業

I. 海外の同様の機関等と交流の推進

- i. マレーシア貿易公社主催 マレーシア・デジタル・コンテンツ産業ダイアログセッションでのプレゼンテーション（9月）
- ii. 中国植林・植樹国際連帯事業 中国弁護士団受け入れ（9月）
- iii. 中国植林・植樹国際連帯事業 アニメ漫画家訪日団受け入れ（11月）

⑦ JACC/JAPACON

- ・JACC (JAPAN CONTENT CATALOG) は、今年度より VIPO の自主事業とな

りました。一括検索が可能なデータベースは5つから7つに増え、検索可能タイトル数も英語対応が約2万5千、日本語対応が約7万となりました。今後も各データベースとの連携を強化すると共に連携先の拡大を図って行きたいと思っております。

- ・ JAPACONは、今年度よりVIPOの自主事業として運営されております。コンテンツに特化した海外向け媒体としての価値を上げるべく活動をしてまいりました。その結果、フェイスブック上で100万いいね！をほぼ達成することが出来ました。今後は、その価値を具現化するべく、VIPOの他事業と連携を図りながら活動をしていく段階に来ていると考えております。

(4) 組織運営

① 会員の状況

I. 新規入会

個人会員 0名 法人会員 7社 賛助会員 0社

II. 退会

個人会員 2名 法人会員 1社 賛助会員 1社

III. 現在の状況

- ・ 会員数：個人会員 5名 法人会員 101社 賛助会員 9社
- ・ 会費及び入会金入金額(予定含む) 51,570,000円
(昨年比1,440,000円増額)

② 通常総会、理事会、幹事理事会

I. 通常総会

平成29年6月21日に通常総会を開催し、平成28年度の事業報告・会計報告、平成29年度の事業計画・予算・役員を選任について決議をいただきました。

また、平成29年7月25日に臨時総会を開催し、役員を選任について決議をいただきました。

II. 理事会

- ・ 平成29年6月5日に開催し、通常総会の審議事項について決議いただきました。
- ・ 平成29年6月21日の通常総会後に開催し、組織規程の改訂について決議いただきました。

- ・平成 29 年 7 月 13 日に開催し、臨時総会の招集と臨時総会の議題である役員の選任について決議いただきました。
- ・平成 29 年 7 月 25 日に開催し、幹事理事の選任について決議いただきました。
- ・平成 29 年 11 月 28 日に開催し、平成 29 年度中間事業報告等を行いました。

III. 幹事理事会

- ・平成 29 年 6 月 5 日に開催し、平成 28 年度の事業・会計の報告を行いました。また、平成 29 年度の事業計画(案)・予算(案)・役員の選退任(案)について報告を行いました。
- ・平成 29 年 11 月 28 日に開催し、平成 29 年度中間事業報告等を行いました。

IV. 会員交流会

平成 29 年 6 月 21 日に当機構会員・役員、関係省庁（内閣官房知的財産戦略推進事務局、総務省、外務省、文化庁、経済産業省）関係団体・企業の皆様をお招きして交流会を開催し多数のご参加を頂きました。本会では同日に行われた通常総会のご報告をするとともにご出席の皆様の交流を深めていただきました。

(5) 広報活動

① 「VIPO 年間活動報告 2016」の発行

「VIPO 年間活動報告 2016」を 6 月 21 日付にて発行し、総会、会員交流会等で配布しました。その後、事業・広報活動等で活用しました。

② ホームページ英語版のリニューアル

海外からの問い合わせの増加に対応すべく、J-LOP4、CoFesta、JACC、セミナーなど海外事業者に関係のある事業やサービス内容（マッチング、紹介、情報提供）を紹介する英語サイトのリニューアルを進め 10 月に公開しました。

③ 英語版リーフレットの作成

英語サイトの内容に連動させながら 2016 年度の活動内容に更新。11 月に完成しました。

④ ホームページの運営

ホームページにおいて、随時活動報告及びコンテンツ業界の情報を掲載いたしました。

また、2016年9月よりコンテンツ業界に関わる人やイベントをテーマにしたインタビュー企画を開始しました。2017年度は15本のインタビューを実施し、ホームページに掲載致しました。

(主なインタビュー)

- 2017年7月 松竹・アミューズのグローバル展開
- 2017年8月 内閣府「知的財産推進計画2017」
- 2017年11月 SME CEOが明かすマネジメントの極意 (VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」講演内容)
- 2018年1月 中南米音楽プロモーターインタビュー (J-LOP4セミナー連動企画)
- 2018年1月 アヌシーディレクターインタビュー (J-LOP4セミナー連動企画)

⑤ VIPO会員とコンテンツ事業者へのメール配信

VIPOの活動報告を毎月定例で発信する「VIPOプレス」の発行と、会員各社の情報や事業活動などを不定期に発信する「VIPOニュース」を継続的に発信しました。メールニュースの配信先数(コンテンツ事業者)は、約10,000件(2018年3月末現在)です。

⑥ 事業活動情報の記事露出

各イベントへの取材誘致活動やプレスリリース配信などを通し、プレスに対し事業活動の最新情報を定期的に発信することで、業界紙・誌・ウェブサイトを中心にパブリシティを獲得いたしました。2016度は286件、2017度は313件の記事掲載がありました。

以上